



青南だより

令和4年11月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<親子で一緒に味わうことでの実感>

先日の作品展には、どの学年にもブドウの作品がありました。作品の鑑賞後には、親子で築山のブドウを自分で採って味わっていただきました。幼稚園と家庭の生活はつながっています。園での子どもたちの経験を保護者の皆さんとも共有できるように、子どもたちがブドウと関わって描く活動に至った経緯は学年だよりなどで伝えてきました。感想文からは、表現が日々の積み重ねから生まれたことを実感していただけたことが分かり、連携の重要性を再確認することができました。

<環境との関わりから生まれる表現>

幼児教育は、環境による教育と言われています。安全対策も含めて、保育室内や園庭がどのような環境に整えられているかによって、生まれる遊びは変わり、そこで学ぶことも変わってきます。ブドウやザクロも日頃からの手入れが実りとなり、子どもの気付きや感動を丁寧に受け止めることで表現につながるのです。また学年ごとに経験させたい内容や時期は異なりますので、製作コーナーの素材や用具も変えています。作品展での表現の違いに、それが反映されています。

<子どもの時間で、日々の積み重ねから>

子どもが学び育つには、大人とは異なる時間の流れが必要です。幼児教育では日々の積み重ねが大事なのです。頭での理解ではなく、体や心で理解していくためには共に過ごす時間や経験の共有が必要で、それには時間も掛かります。しかし、その分、しっかりとした根っこになっていくのです。11月には運動会を予定しています。新しい経験も取り入れ、子どもたちが日々楽しんでいることを膨らませ、相談しながらみんなで創り上げていきます。どうぞお楽しみに。



小さい子たちに優しく対応する年長児



お家の方にも見てもらって大喜びです



ブドウはお家の方にも味わってもらいました



今年は手入れの成果もあり、ザクロも豊作！



珍客の到来に、思わずみんなが大注目
大きくて優雅なナガサキアゲハでした！

・・・霜月（しもつき）・・・

りっとう
立冬（7日）… 裏庭の柿がおいしそうです …

しょうせつ
小雪（22日）… 楓が色付き始めるでしょうか …

裏庭の柿は、今年もすでに色付き始めており、子どもたちと一緒に収穫できそうです。さて、そろそろ園児募集の時期です。素晴らしい自然環境に恵まれた青南幼稚園の魅力をぜひ皆さんからも発信していただければ幸いです。10月27日には、区内、都内外から幼児教育関係者、地域の小中学校の先生方など150人以上の方々にお越しいただき、公開保育・研究発表会を行いました。子どもたちや自然の様子は随時、ホームページやツイッターでお知らせしています。ぜひご覧ください。

青南の
二十四節気